

知ってればトクをする。この一冊があなたを守る!!

mono

5-16

モノマガジン情報号

新製品と時代を読む特集

2005NO.517 定価620円
www.monomagazine.com

平成17年5月16日発行・毎月2回2日・16日発行
第24巻第9号・通巻517号
昭和57年11月2日 第3種郵便物認可

渾身の
120
ページ
大特集

IDカードはストラップで差をつける！
マイケル・グレイブスがシュレッダーをデザイン
個人情報保護法 Q&A
最新キー、驚愕の技術力
モスバーガーが語る食の安全とは？

安心と安全が欲しい！

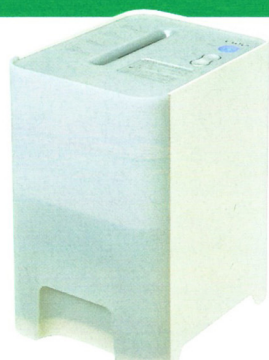
セキュリティ

そのカギは、
275.200.000.000.000.000
27京5200兆通りの
頭脳をもつ！





セキュリティアイテムに



メディアシュレッダーDS-20

対象:フロッピーディスク、CD、DVD他

判型:幅130mm以内

カット形式:クロスカット5×50mm

容量:3.9ℓ(廃棄推奨1.9ℓ)

ミニマルなかたちと爽やかなホワイトカラーが、デスクサイドに違和感なく馴染む。コンパクトなA4板ファイルサイズで、ボックスファイルだとちょうど2個分。棚に並べて置いても、すっきりまとまる。葉書など厚手の紙も裁断できる。サイズW20.2×D25.2×H30.7cm価格1万7640円 簡タイプオン事務器 お客様相談室☎0120(074)416



ペーパーシュレッダーA4クロス

対象:普通紙(コピー用紙)

判型:230mm

カット形式:クロスカット4×23mm

容量:A4コピー用紙約60枚

家具やファブリックなどのインテリアに、カラフルなアイテムが増えてきたことに呼応して生まれたシュレッダー。ホワイト、ブルー、レッド、オレンジとビビッドな4色を展開。薄型でコンパクトなので置き場所をとらない点も、パーソナル使用にぴったりだ。サイズW31.3×D15.4×H34.4cmオープン価格 簡アイリスオーヤマ☎0120(323)410



amadana パーソナルシュレッダー

対象:普通紙(コピー用紙)

判型:A4サイズ縦幅以内

カット形式:クロスカット4×40mm

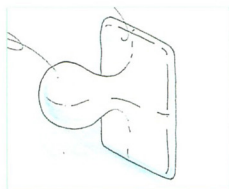
容量:ダストボックスW30cm32×D14cm19×H16cm

デザインコンシャス度では随一。オフィスはもちろん、リビングに置くことも想定された、美しい佇まいだ。半透明のダストボックスは、下部はフロスト、上部は徐々にクリアな仕上がりになっている。この繊細なグラデーションが、溜まったゴミまで美しく見せる。サイズW32.2×D19×H36cm価格1万9950円 簡リアル・フリート☎03(5774)0947

いまや、ショップで専用コーナーが設けられるほど、防犯アイテムのニーズは高まるいっぽうだ。だが、インテリアの一部となる生活密着型のアイテムなのに、デザイン面では発展途上なのが現状。そのなかで検討をみせているシュレッダーから、グッドデザインのものを紹介する。さらに、これからの防犯アイテムのあるべき姿を、注目のデザイナーやショップに提案願った。常識に囚われない自由な発想が商品に生かされれば、身を守る道具はもっと美しく、楽しくなるはず!

Text/TAKASE yukiko

酒井俊彦のセキュリティ



上/酒井さんのアイデアスケッチ。威嚇するのではなく、挑戦するといった趣がユニークだ。下/酒井さんの新作「COMCAMERA」のプロトタイプ。携帯電話などからコントロールできる、USBカメラとスタンドのセットだ。

防 犯アイテムは、これからどんどん、日常生活に入り込んでくるでしょうね。それが望ましい状況だとは決して思えませんが、都市部で多くの人が水道の水を飲まなくなり、ミネラルウォーターを買うようになったのと同じように、防犯アイテムも、当たり前になってくるでしょう。

そうすると、今のままでは困ります。もっとデザインに配慮してもらう必要が出てきます。いままでは特殊な製品であったため、機能さえ満足いくものであれば問題はありませんでした。ですが、これからはごく普通で、室内にある家具や雑貨などのインテリアと同列のものとして、扱われるようになってくるからです。

ですから、B級SF映画に出てくるような遠隔操作カメラなどというのは、日常生活に馴染まなさすぎて論外です。また、信頼性を強調するあまり、過剰に無骨なかたちをしているのもどうかと思います。他人に対しての防備や拒絶をしすぎてしまうと、

ギスギスした社会がさらに加速しそうですから……。

デザインは、基本的にはインテリアと波長の合う、スマートなのがいいのではないのでしょうか。個人的には、泥棒が入る気力をなくすくらいインパクトがあるものが好きです。

実際に自分で防犯アイテムをデザインするとしたら、そうしたユニークなアプローチのものがいいですね。たとえば、名付けて“取り付く島のないドアノブ”。鍵穴はない、ノブは回らない、おまけに感触がちょっと柔らかい? こんなドアノブがあったら、意表をついて面白くありませんか?

このアイデアは、強固に守るという、一般的な防犯の考え方とは対極なんです。脱力しそうなくらいに一見無防備な佇まいでいながら、実際は手強い品。

こんなふうに、泥棒が怒るというよりあきれて帰ってしまうような、防犯アイテムをデザインしてみたいと思います。

(本人談)



酒井俊彦さん

さかいとしひこ 1964年生まれ。92年にサカイデザインアソシエーツを設立。メーカーとコラボレートするかたちで新製品の開発に携わることも多く、家具や家電から和菓子にいたるまで、幅広いジャンルで活躍中。www.sakaidesign.com